

トラブルシューティング（スモーザー、ジェッター①）

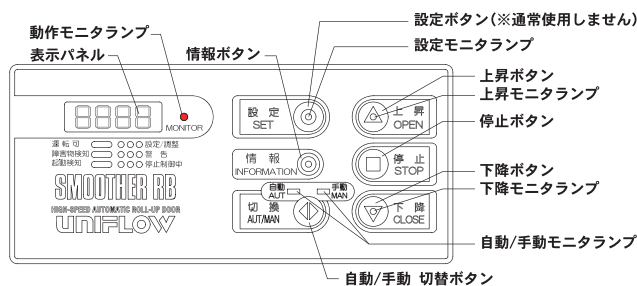
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：スモーザー RB-2s, RB-3s, RB-4Z）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

操作パネル説明

<RB-2s, RB-3s, RB-4Z>



機種により操作が
異なります。

RB-2s, RB-3s, RB-4Z

RB-1, RB-1Ta

JT-1, JT-1T, JT-2T

の順に掲載しています。

症状①

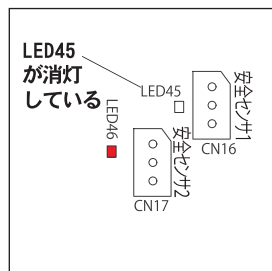


赤が点灯している

症状①【操作パネルの MONITOR ランプが赤く点灯していて「E-04」が表示されている場合】

⇒光電管センサの光軸ずれです。

露出側光電管センサの光軸ずれ、または埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。



→①-1

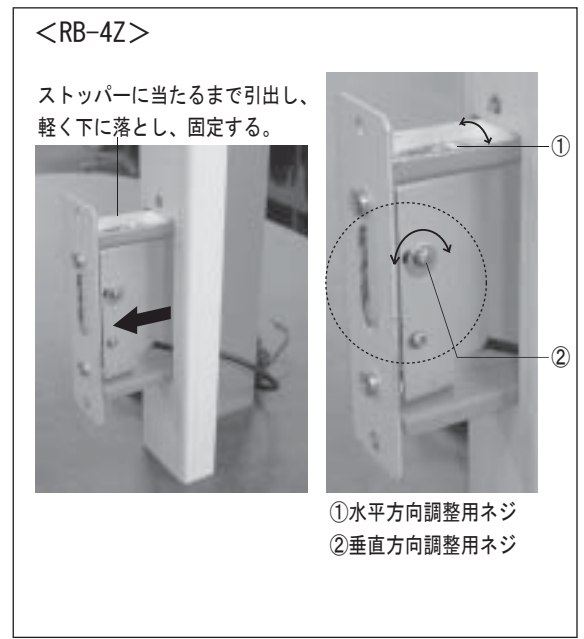
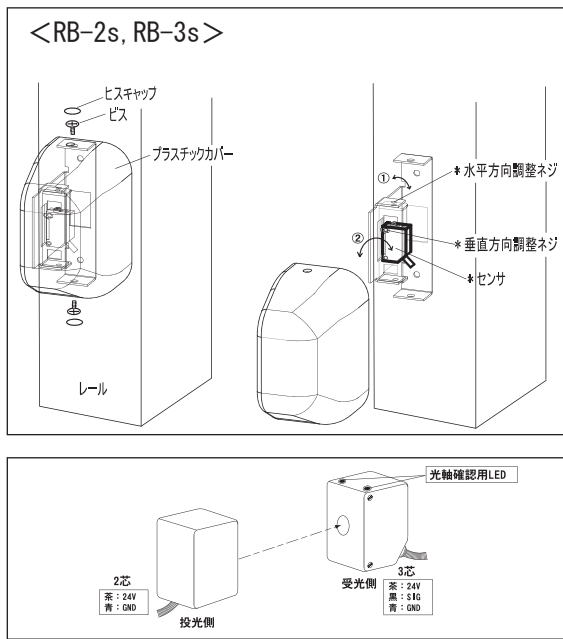
基板上的 LED45 が消灯している場合は、露出側光電管センサの光軸ずれが原因です。

露出側光電管センサの光軸調整方法

[RB-2s,3s] プラスチックカバーの上下のビスキャップとビスを取り外してカバーを外し、光軸を調整してください。（メイン基板 CN16[LED45] 正常時点灯）

[RB-4Z] エバータイトネジを外して、ストッパーに当たるまで引き出し、軽く下に押し固定した状態で光軸を調整してください。

（参考図次ページ）



1. 水平方向の調整をする

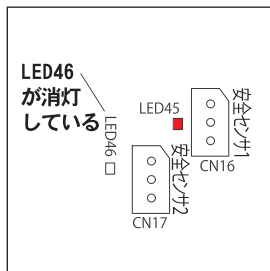
- 上部・下部のネジを軽く緩め、センサを動かして調整してください。

2. 垂直方向の調整をする

- 側面のネジ2本を軽く緩め、センサを動かして調整してください。

3. 光軸が合っているか確認する

- センサ上部のLED（オレンジとグリーン）が2つとも点灯すれば、光軸が合っています。



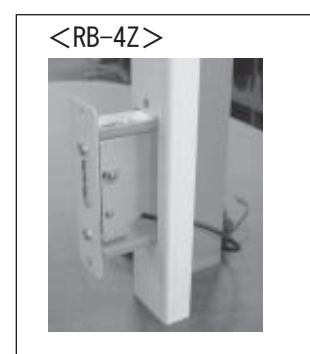
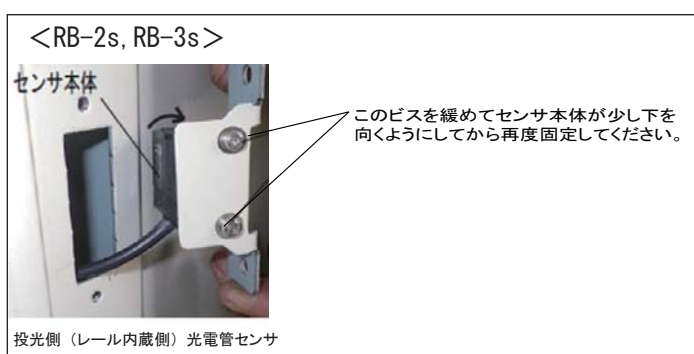
→①-2 基板上的LED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



症状②



橙が点灯している

症状②【(自動モードの状態) MONITOR ランプが橙に点灯している場合】

⇒起動センサが検知しています。

対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 ヌニフロ エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

トラブルシューティング（スモーザー、ジェッター①）

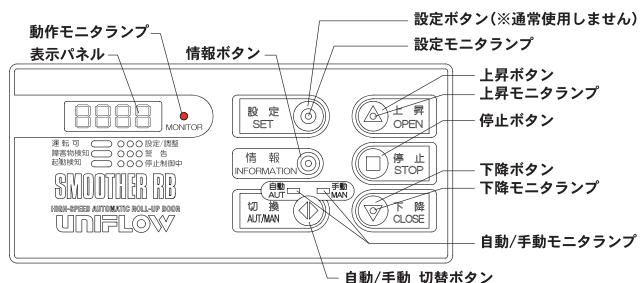
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：スモーザー RB-1, RB-1Ta）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

操作パネル説明

<RB-1Ta>



<RB-1>

RB-1 については
制御盤内のメイン基板の
保護制御表示灯を
確認してください。

機種により操作が
異なります。

RB-2s, RB-3s, RB-4Z

RB-1, RB-1Ta

JT-1, JT-1T, JT-2T

の順に掲載しています。

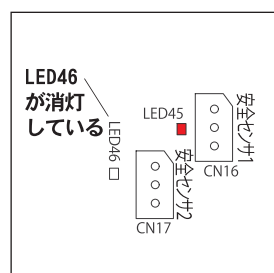
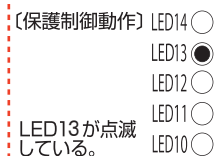
症状①

RB-1Ta



症状①【RB-1Taの操作パネルのMONITORランプが赤く点灯していて「E-04」が表示されている、またはRB-1の制御盤内メイン基板の保護制御表示灯LED13が点滅している場合】
⇒光電管センサの光軸ずれです。

RB-1



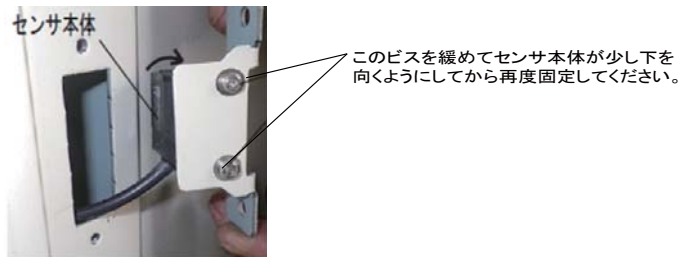
→① 基板上のLED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



投光側（レール内蔵側）光電管センサ

光軸が合っているか確認してください。

センサ上部の LED（オレンジとグリーン）が 2 つとも点灯すれば、光軸が合っています。

症状②

RB-1Ta



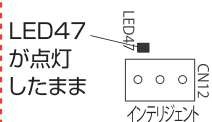
橙が点灯している

症状②【RB-1Ta の（自動モードの状態）MONITOR ランプが橙に点灯している、または RB-1 の制御盤内メイン基板表示灯 LED47 が点灯している場合】
⇒起動センサが検知しています。

対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

RB-1



LED47
が点灯
したまま

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 **ユニフロ** エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

トラブルシューティング（スモーカー、ジェッター①）

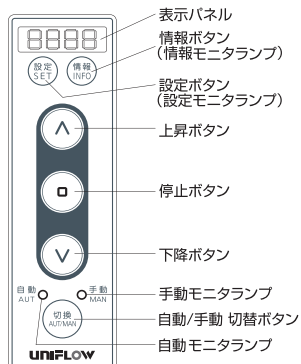
シャッターが開いた状態で閉まらない

（該当機種：ジェッター JT-1, JT-1T, JT-2T）

⇒操作パネルで症状と原因を確認し、対処してください。

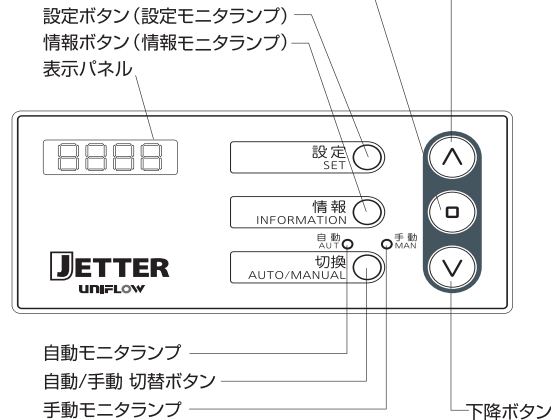
操作パネル説明

<JT-1>



※JT-1/1T/2Tの操作パネルには、動作モニタランプはありません。

<JT-1T, JT-2T>



機種により操作が異なります。

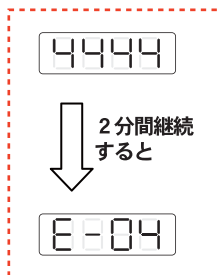
RB-2s, RB-3s, RB-4Z

RB-1, RB-1Ta

JT-1, JT-1T, JT-2T

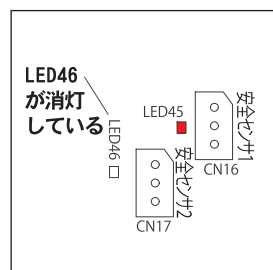
の順に掲載しています。

症状①



症状①【表示パネルに「4444」が2分間継続表示後⇒「E-04」が表示される場合】

⇒光電管センサの光軸ずれです。



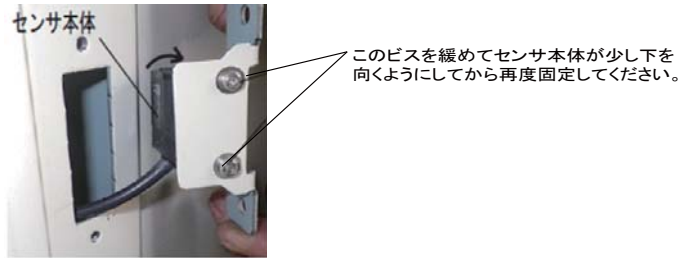
→① 基板上のLED46が消灯している場合は、埋込側光電管センサの光軸ずれが原因です。

投光側（レール内蔵側）光電管センサ光軸調整方法

投光側の（レール外付側）光電管レンズ面に養生テープ等を貼ってください。

投光側（レール内蔵側）の光電管センサをレールから取り出し、センサ固定の上下のネジを緩めてセンサ本体が少し下を向くようにして固定してください。（光軸中心を下げる）

一旦レールに固定して、受光側（レール内蔵側）光電管センサの光軸が合っている（LED46のみ点灯）ことを確認してください。



投光側（レール内蔵側）光電管センサ

光軸が合っているか確認してください。

センサ上部のLED（オレンジとグリーン）が2つとも点灯すれば、光軸が合っています。

症状②



症状②【（自動モードの状態）MONITORランプが橙に点灯している場合】

⇒起動センサが検知しています。

対処方法

- ・ 検知エリアの障害物を取り除いてください。
- ・ 床面の反射物（床濡れ、ブルーシート）を除いてください。
- ・ センサの設定が静止物体無限検知でしたら、設定を変更してください。

各商品修理に関するお問い合わせ

株式会社 ヌニフロ エンジニアリング部

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田

受付時間

平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~17:00

日曜祝日は翌営業日に対応させていただきます。

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226